



公益財団法人 名古屋産業科学研究所

産業科学フォーラム2014

日時：平成26年9月16日（火）13時～16時30分

場所：名大 VBL棟（3階）ベンチャーホール

テーマ：循環型社会形成に向けた課題と展望

—工学的、農学的視点から解決策を模索する—

本フォーラムでは、ナノテク・材料・農学分野の教育・研究・行政に造詣が深い研究者を講師に迎え、循環型社会形成に向けた課題と展望などを、工学、農学的視点から議論します。

講演プログラム

挨拶（13:00～13:10） 主催者

講演1（13:10～14:10） 大里 齊 上席研究員・名工大プロジェクト教授

講演2（14:10～15:10） 大竹良知 上席研究員

休憩（15:10～15:25）

講演3（15:25～16:25） 椿淳一郎 上席研究員・名大名誉教授

講演概要

講演1. 「循環型社会に於ける材料開発」

概要 地球という有限な環境で人類が生きてゆくためには、生産力の発展を抑えた循環型社会の構築が必要だ。材料開発に於いても、自然を汚さず、自然に帰す循環が求められている。その原則から材料開発を考えてみたい。

講演2. 「土壌の施肥管理に伴う環境問題の発生とその防止を可能にする技術の開発」

概要 農業が環境に及ぼす影響として農薬使用が問題（ミツバチ大量死等）となっているが、杜撰な施肥管理のため過剰な窒素・リン酸などが環境を汚染している事も無視できない。今回は適切な施肥管理により環境汚染防止を可能にする近赤外堆肥・土壌測定システム、及びその他の環境関連技術について紹介する。

講演3. 「放射能汚染土を先端汙過技術で減容」

概要 東京ドーム23杯分と言われる除染廃土を、先端汙過技術で1/3ぐらいに減容できる装置を完成し、現地試験にも成功したのだが・・・。

*参加いただける方は、事前に下記まで連絡願います。

公益財団法人 名古屋産業科学研究所・研究部

E-mail: dor@nisri.jp

*会場へのアクセス

地下鉄名城線 名古屋大学3番出口 徒歩3分

<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/>

